

神業職人のご紹介！

オークヴィレッジ製作部 澤岡 淑郎氏

「木工とは削ることだ」

「木工とは削ることだ」と言った方がおられます。一部の特殊な技術を除いて、木製品は基本的に「削り出し」により成形されます。

手鉋の薄削りに代表される日本の高精度な切削技術は世界に誇るものですが、それに対してDonguri 樺Ti plusの薄く、小さく、かつ高精度なものを削り出して残す、ということは今までに無い大きな課題でした。

「切削中に割れてはじけ飛んでしまう」

開発当初は、その薄さ故に、ことごとく切削中に割れてはじけ飛んでしまうという問題に直面しましたが、考えられる様々な方法を試した結果、「乾燥」「切削抵抗」「刃物の切れ味」という、3点の極めて基本的な要素を1から見直すという作業に帰結したのです。

「丁寧さ」

例えば、DONGURIの素材である厳選されたケヤキ材は、16φ×長さ16mmという本切削前の最小単位に刻まれてから1ヶ月以上もの間、シーズニングという養生期間を経て、はじめて切削工程に入ります。

このような「丁寧さ」をもって、Donguri 樺Ti plusは初めて現実のものとなりました。

